



この度は本製品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでもすぐ読むことができる場所に大切に保管してください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。以下に、本書に使用している表示とその意味を説明します。誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次のように区分しています。










注意事項の区分

 警告	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表します。
 注意	「人が損害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表します。








マークの意味

 禁止	 強制
---	---


設置するとき

 警告		 注意
 禁止 高温になる場所(火のそば、熱器具のそば、炎天下など)や、直射日光の当たる場所には設置しない	 設置する際に異物等がサンプの底面がないことを必ず確認する 不安定な場所に設置すると、割れる危険があります。	 禁止 電化製品付近での使用はしない 湿気や水分により影響が出る恐れがあります。
 設置する場所は水平器を使用し、水平で重量に十分耐えられる安定した場所を選び、正しく設置する 不適切な場所に設置すると、割れる危険があります。	 本製品はガラス製ですので、衝撃を与えないよう、持ち運び・設置等の取扱いには十分注意する 衝撃を与えると、割れる危険があります。	 禁止 お子様に危険を及ぼす恐れのある場所には設置しない
		 禁止 屋外での使用や、放置をしない 破損の原因になります。

使用するとき

 警告		 注意
 禁止 本製品を改造・加工等しない 破損やケガの原因となります。	 設置後、サンプ本体を移動する場合には、全ての電源プラグを抜き、水や中に入れた物を完全に取り除く 割れる危険があります。	 小さなお子様が近くにいる場合は目を離さない
 禁止 ろ過槽以外の用途で使用しない 破損やケガの原因となります。		 禁止 サンプには 40℃以上の熱湯を入れないでください 変形するなどして壊れる危険があります。

ご使用の前に

-  **注意**
- ・ サンプ本体とウールボックス、全ての付属パーツを箱から取り出し、輸送中の亀裂や割れなどが無いかご確認ください。ご使用前に必ず水を入れ、漏れがないか確認してください。万一、損傷や水漏れが見られた場合は使用せずにご購入店にご連絡ください。
 - ・ サンプとウールボックス全体を拭いてからご使用ください。

メンテナンスについて



注意

メンテナンスなどでサンプに手を入れる際には、全ての電源をお切りください。その際、濡れた手で電源の抜き差しを行わないでください。
アクアリウム専用クリーナー以外の、洗剤や化学物質を含むクリーナーを使用しないでください。

1. サンプの外側の清掃

水道水を使用し、汚れや塩だれを柔らかい布で拭きとってください。

2. サンプの内側の清掃

サンプ内部のコケや汚れはガラス材質に適した柔らかいスポンジやクリーニング用具を用い、力を加えずに慎重に拭き取ってください。刃先の鋭利なものを使用すると接着シリコン部分を傷付け、水漏れ・破損の原因となりますので、接着シリコン付近の清掃には使わないでください。

注) 研磨性のあるスポンジや硬い材質の用具を使用すると、ガラス表面が傷つきます。

●パーツリスト

・サンプ本体

・ウールボックス

・パーツA(塩ビ管)×1

・パーツB(コーナー)×2

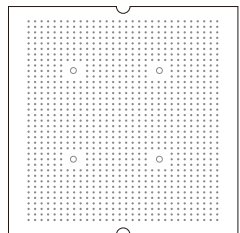
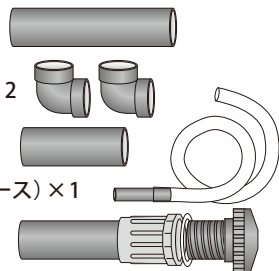
・パーツC(塩ビ管)×1

・パーツD(塩ビ管+ホース)×1

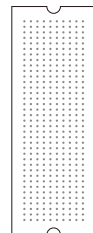
・パーツE(塩ビ管)×1

・コーナーカバー×4

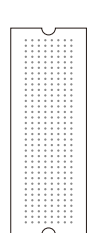
・底板A用ネジ×4



・底板A×1



・底板B×1



・底板C×1



・ウールボックス蓋×1



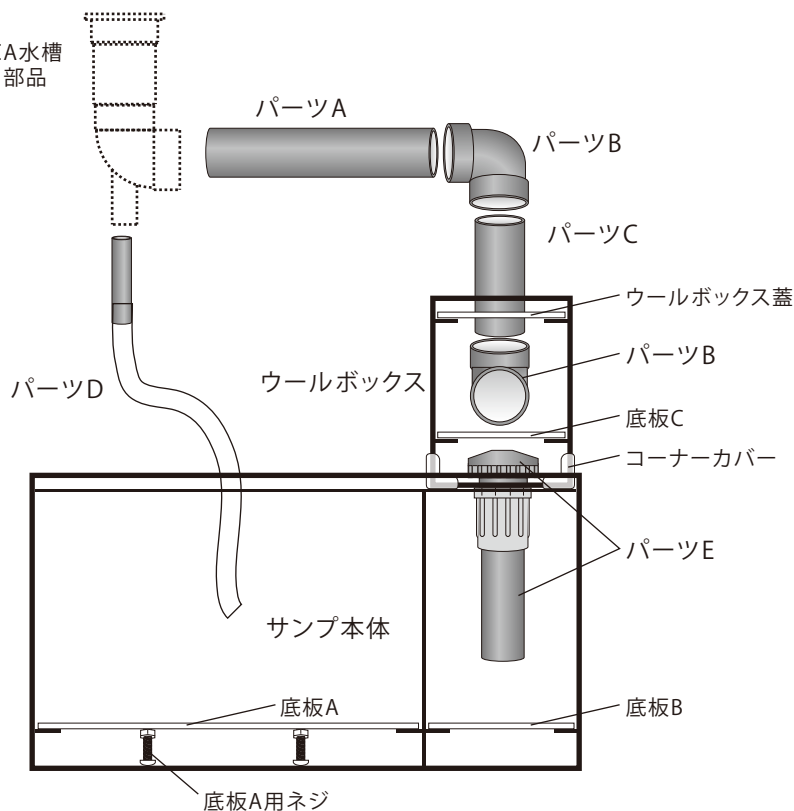
・パーツA～Dの接続はシーリングテープを用いて接続部から水漏れが無いようご注意ください。

・接着剤を使用する場合、パーツBとCの接続には使わないでください。配管が外せなくなり、ウールボックスのメンテナンスに支障がでます。

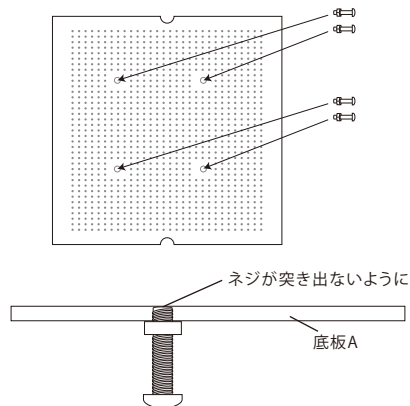
接着剤の使用や差し込む力加減により、配管の仕上がり寸法が異なります。
標準値でパイプの長さを設定していますので、若干の調整を行う必要があります。

●組立て図

ORCA水槽
付属部品



底板Aに、底板A用ネジを差し込み、
ナットで固定してください。
(ネジが突き出ないようにご注意ください。)



パーツEは
ウールボックスの底の穴に
右図の順で差し込み、
ネジ部分を締めて
固定してください。
(締めすぎは破損の
原因となりますので
ご注意ください。)

